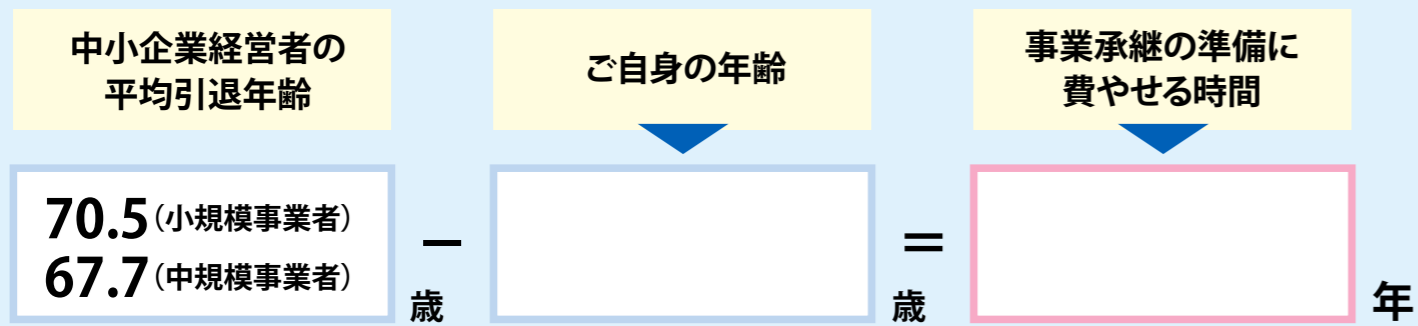
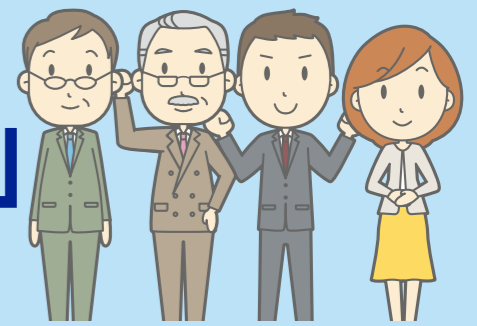


●事業承継の準備に費やせる時間を計算してみましょう●



「社長の想いをつなぐ～ バトンタッチ支援隊事業」 「ONE TEAM」で、 事業承継に関する経営課題を解決・支援



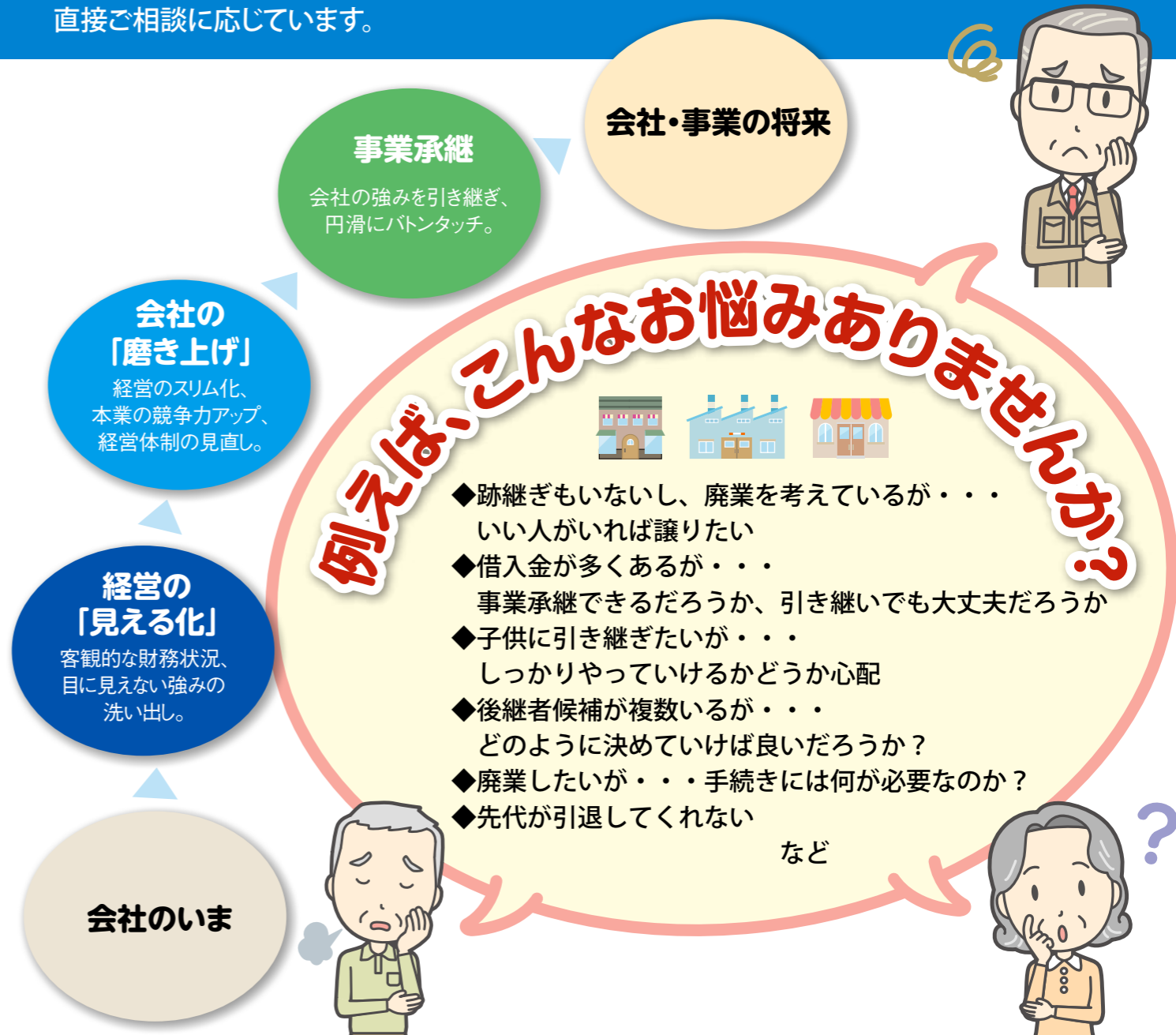
中面の「事業承継自己診断チェックシート」で自己診断をしてみましょう。

鹿沼商工会議所では、「事業承継の個別相談窓口」を開設しております。事業承継に関する心配事、悩みから現実的な相談まで様々な課題の解決に向け、直接ご相談に応じています。

各承継方法のメリット・デメリット

「誰に会社（経営）を承継させるか（後継者の確定）」によって、様々なメリット・デメリットがあります。後継者選びにあたっては、関係者と意思疎通を図ることや、各承継方法のメリット・デメリットを把握することが重要です。

	〈メリット〉	〈デメリット〉	〈留意点〉
I 親族内承継	<ul style="list-style-type: none"> ●一般的に社内外の関係者から心情的に受け入れられやすい。 ●一般的に後継者を早期に決定し、長期の準備期間を確保できる。 ●他の方法と比べて、所有と経営の分離を回避できる可能性が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親族内に、経営能力と意欲がある者がいるとは限らない。 ●相続人が複数いる場合、後継者の決定・経営権の集中が困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ●後継者が学校卒業後に他社に就職し、一定のポジションに就いている等の場合を含め、家業であっても、早めのアナウンスをして本人の了解を明示的にとりつける取り組みが必要です。
II 親族外承継（従業員等）	<ul style="list-style-type: none"> ●親族内に後継者として適任者がいない場合でも、候補者を確保しやすい。 ●業務に精通しているため、他の従業員などの理解を得やすい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●親族内承継と比べて、関係者から心情的に受け入れられにくい場合がある。 ●後継者候補に株式取得等の資金力がない場合が多い。 ●個人債務保証の引き継ぎが難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ●従業員は経営リスクをとる覚悟で入社、就業してきておらず、白羽の矢を立てた幹部等従業員が、経営者となる覚悟を得るためには、早めのアナウンスと本人の了解を明示的にとりつける取り組みが必要です。
III 親族外承継（第三者）	<ul style="list-style-type: none"> ●身近に後継者として適任者がいない場合でも、広く候補者を外部に求めることができる。 ●現オーナー経営者が会社売却の利益を獲得できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●希望の条件（従業員の雇用、売却価格等）を満たす買い手を見つけるのが困難。 	<ul style="list-style-type: none"> ●会社内に後継者がいない場合、検討することを先延ばしにしてしまいがちですが、早めに近くの事業引継ぎ支援センター等の支援機関に相談しましょう。



【お問合せ先】

鹿沼商工会議所 振興課 〒322-0031 栃木県鹿沼市睦町287-16
TEL 0289-65-1111(代) FAX 0289-65-1114

事業承継自己診断チェックシート

後継者の有無にかかわらず、次世代へのスムーズな事業承継には、通常5年～10年の準備期間が必要だといわれています。そのためには、早めの準備が何よりも大切です!!

事業所名： _____ 業 種： _____
代表者名： _____
連絡先： (TEL) _____ (E-mail) _____

Q1 会社の10年後の夢について語り合える後継者候補がいますか?
☑はい ☐いいえ
それは誰ですか
【 _____ 】

Q2 後継者本人に対して、会社を託す意思があることを明確に伝えましたか?
☐はい ☐いいえ

Q3 候補者に対する経営者教育や、人脈・技術などの引継ぎ等、具体的な準備を進めていますか。
☐はい ☐いいえ

Q4 役員や従業員、取引先など関係者の理解や協力が得られるよう取り組んでいますか。
☐はい ☐いいえ

Q5 事業承継に向けた準備(財務、税務、人事等の総点検)に取りかかっていますか。
☐はい ☐いいえ

Q6 事業承継の準備を相談する先がありますか。
☐はい ☐いいえ

Q7 親族内や役員・従業員等の中で後継者候補にしたい人材はいますか。
☐はい ☐いいえ

Q8 事業承継を行うためには、候補者を説得し、合意を得た後、後継者教育や引継ぎなどを行う準備期間が必要ですが、その時間を十分にとることができますか。
☐はい ☐いいえ

Q9 未だに後継者に承継の打診をしていない理由が明確ですか。(後継者がまだ若すぎるなど)
☐はい ☐いいえ

Q10 事業を売却や譲渡などによって引継ぐ相手先の候補はありますか。
☐はい ☐いいえ

Q11 会社売却や事業承継等の進め方についてご存知ですか?
☐はい ☐いいえ


Q3 Q4 Q5 Q6 で、1つ以上「いいえ」と回答した方
事業承継計画の策定による計画的な取り組みが求められます。円滑な事業継承を進めていくために、事業承継計画の策定による計画的な取り組みが求められます。まずはご相談ください。

Q7 Q8 Q9 で、1つ以上「いいえ」と回答した方
企業存続に向けて、具体的な事業承継についての課題の整理や方向性の検討を行う必要があります。事業の存続に向けて、具体的に事業承継についての課題の整理や方向性の検討を行う必要があります。まずはご相談ください。

Q10 Q11 で、1つ以上「いいえ」と回答した方
第三者への事業引継ぎという手段もあります。支援機関(商工会議所)を通して、専門家や事業引継ぎ支援センターにご相談することを進めてください。まずはご相談ください。

「はい」、「いいえ」の該当する方に☑をしてください。

*中小企業庁「事業承継ガイドライン」から引用



次の世代へ会社をつなげていくために事業承継の取組みを支援します!

お問合せ 鹿沼商工会議所 振興課 0289-65-1111
ぜひ、こちらの「チェックシート」もFAXでお送りください。
FAX: 0289-65-1114

まずは、
お電話を!

ご相談内容により、適切な専門家を個別に無料派遣するなど、より具体的なご支援をおこないます。事業承継計画の作成や事業承継をきっかけとした経営の改善策についてもお手伝いいたしますので、お気軽にご相談ください。

